

## &lt; DCプランナー3級試験ガイドライン &gt;

分野	出題項目	《出題の内容と狙い》
A. わが国の年金制度・退職給付制度	1. 公的年金制度 ・年金制度の全体像 ・公的年金制度の目的と概要 ・国民年金の仕組み ・厚生年金保険の仕組み ・共済年金の仕組み	公的年金は公的年金老後の生活資金の柱となるものです。国民年金、厚生年金保険等、公的年金の仕組みについての基礎知識を有することは、個人のリタイアメントプランを考えるうえで不可欠です。
	2. 私的年金制度 ・私的年金制度の目的と概要 ・企業年金と退職金制度 ・国民年金基金の仕組み ・厚生年金基金の仕組み ・確定拠出企業年金の仕組み ・税制適格年金の仕組み ・個人年金の種類と仕組み	適格退職年金、厚生年金基金に代表される企業年金制度、および個人年金等の私的年金制度は、現在、公的年金を補完する重要な役割を担っています。確定拠出年金制度との対比において、各制度の仕組みや特徴を理解することが求められます。
B. 確定拠出年金制度	1. 確定拠出年金制度 ・企業型年金の仕組み 企業、運営管理機関、資産管理機関、運用商品 ・個人型年金の仕組み 国民年金基金連合会、事務委託先金融機関の役割、運営管理機関、企業 ・企業型年金の加入対象者 ・企業型年金の掛金と拠出限度額 ・個人型年金の加入対象者 ・個人型年金の掛金と拠出限度額 ・離・退職時の取扱い ・運用 ・受給権と給付 ・税制上の措置 ・確定拠出年金規約 ・確定拠出年金のメリット・デメリット	確定拠出年金制度には企業が掛金を拠出する企業型年金と個人が掛金を拠出する個人型年金があります。運営方法や加入資格など、それぞれの仕組み全般について基本的な知識を有し、加入者等に正しく説明できることが求められます。
	2. コンプライアンス ・事業主の責務と行為準則 ・運営管理機関・資産管理機関の行為準則 ・投資情報提供・運用商品説明上の留意点 ・受託者責任	確定拠出年金制度の運営には、事業主や運営管理機関、資産管理機関等がさまざまな役割を担います。それぞれの役割を加入者や受給者のために正しく履行されるよう確定拠出年金法には様々な規定があり、その基本的内容について充分理解することが求められます。
C. 投資に関する知識	1. 投資の基本 ・確定拠出年金における自己責任原則 ・投資におけるリスクの考え方 ・リスクとリターンとの関係 ・分散投資の目的と効果	確定拠出年金制度では、個人が自分で運用の指図をし、その結果により将来受ける給付金の額が変動することが大きな特徴です。こうした個人の資産運用を支援するために、投資の基礎知識やさまざまな運用商品の特徴を充分理解し、正しく説明できることが求められます。
	2. 運用商品の特徴 ・元本確保型商品 ・預貯金の種類と留意点 ・投資信託の特徴と留意点 ・保険商品の特徴と留意点	
	3. 投資の評価に関する指標 ・投資指標 ・投資信託の評価	
D. リタイアメントプランニング	リタイアメントプランニング ・リタイアメントプランニングの基本的な考え方 ・リタイアメントプランの作り方	確定拠出年金制度は老後の生活資金作りの手段の1つです。したがって、確定拠出年金制度を有効に活用していくためには、老後の資金計画をたてること、すなわちリタイアメントプランニングの基礎知識を有することが求められます。